

徳島県立中央病院 ER棟 (南館)

救命救急医療

24時間365日体制で、
緊急度・重症度の高い患者さんを中心に、
状況に応じた救急医療を提供します



徳島県立中央病院
TOKUSHIMA PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

〒770-8539
徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3

088-631-7151 (代表)

0120-631-715 (FAX紹介状)
088-631-8354 (事務局)

徳島県立中央病院

- JR徳島線「蔵本駅」より徒歩10分
- 徳島自動車道:藍住ICより県道1号経由にて車で7km・約15分



徳島県立中央病院
TOKUSHIMA PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL



ご挨拶



この度、令和3年10月から整備を進めて参りました「県立中央病院ER棟（南館）」が完成いたしました。整備に当たり、一方ならぬ御理解、御協力を賜りました地元の皆様をはじめ、多くの関係者の方々に対し、深く感謝申し上げます。

今、新型コロナウイルス感染症に代表される新興感染症への対応と通常医療との両立をはじめ、南海トラフ巨大地震や超高齢社会の到来など、本県医療は様々な課題に直面しております。当施設は、こうした課題に対応するため、「救急・感染症外来」をはじめ、発災時には「災害対策本部」や「DMAT活動拠点本部」の役割を担うほか、専門性の高い医療技術の習得を図る人材育成機能や5G通信環境を活用した先進的な遠隔医療による地域医療支援機能など、全国にも類を見ない複合的な機能を備えております。

新たな「ER棟（南館）」を加えた県立中央病院が、「県民医療の最後の砦」として、今後とも県民の皆様の生命、安全・安心をしっかりとお守りすることができるよう、関係医療機関との緊密な連携のもと、全力で取り組んで参りますので、より一層の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

徳島県知事 後藤田 正純



この度、県立中央病院ER棟（南館）の新築工事が無事完了し、5月29日に開院の運びとなりました。

これもひとえに、設計・施工に携わっていただいた方々など、多くの関係者の方のご尽力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

当院は、平成24年の全面改築から10年が経過し、これまで県民の皆様に質の高い安全な医療を提供すべく、高度医療や政策医療の推進に取り組んで参りました。

特に、令和2年からの「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」への対応では、「重点医療機関」として、病床の確保と感染者の積極的な受入れに努めてきたところです。

ER棟（南館）開院後は、全面陰圧化された「救急・感染症外来」や拡充整備した「内視鏡センター」など、当施設が持つ多様な機能を存分に発揮し、「ポストコロナ新時代」を見据え、「本県医療の中核拠点」としての使命を果たすことができるよう、精一杯努力して参りますので、さらなる御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

徳島県病院事業管理者 北畑 洋



関係者の方々の御理解と御協力を賜りまして、これまで診療体制を維持しながら整備を進めて参りました「ER棟（南館）」が無事完成し、この度、運用を開始する運びとなりましたことに心から感謝申し上げます。

「ER棟（南館）」の運用により、新興・再興感染症の発生を想定した感染症対応機能を強化いたしますとともに、本館で担ってきた機能の一部を移転・拡充し、感染症対応と通常医療の両立に向けまして、本館と連携しつつ、ポストコロナにおける救急医療、災害医療の充実・強化を図って参ります。

また、医療DXの一環として、5Gネットワークを活用した遠隔医療による地域医療支援を行うことで、質の高い医療を幅広く県民の皆様へ提供できるよう努めて参ります。

今後とも、県民の皆様に必要な医療を提供する「強くて優しい病院」を目指し、連携医療機関及び地域の皆様の信頼が得られるよう尽力いたしますので、なお一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

徳島県立中央病院長 葉久 貴司



立面図



配置図



施設概要

建物名称 / 徳島県立中央病院 ER棟(南館) 住所 / 〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3

	ER棟(南館)	渡り廊下	(参考)本館棟
建物構造	鉄筋コンクリート造 (免震構造)	鉄骨造 (耐震構造)	プレキャストコンクリート造 (免震構造)
建物規模	地上5階	地上5階(1階ピロティ)	地上10階
建築面積	1,638㎡	104㎡	6,724㎡
延床面積	6,691㎡	425㎡	36,677㎡
建物高さ	26.4m	24.1m	53.5m
救急受付	一次救急 小児救急	-	二次救急 三次救急

主な機能

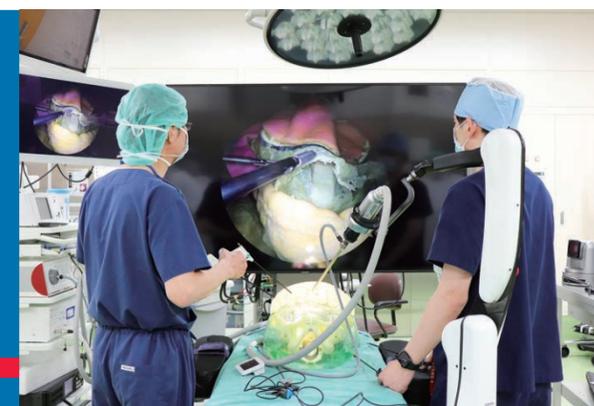
救命救急

救急・感染症外来をはじめ、一次救急及び小児救急体制を充実し、本館棟の二次・三次救急と連携して、高度な救急医療に対応する「救命救急センター」としての機能強化を図ります



地域医療支援

5G回線を活用した常設の「オンライン診察室」において、先進的な遠隔医療により地域医療を支援します



災害対応

発災時には、「基幹災害拠点病院」として、「災害対策本部」や「DMAT活動拠点本部」の役割を担い、危機事象に的確に対応します



人材育成

専門性の高い医療技術を習得するための研修施設を整備し、将来の医療を担う人材を育成します



フロア案内



診察室



救急病棟



5G診察室



5G会議室



内視鏡検査室



X-TV室2



HCU



スタッフステーション



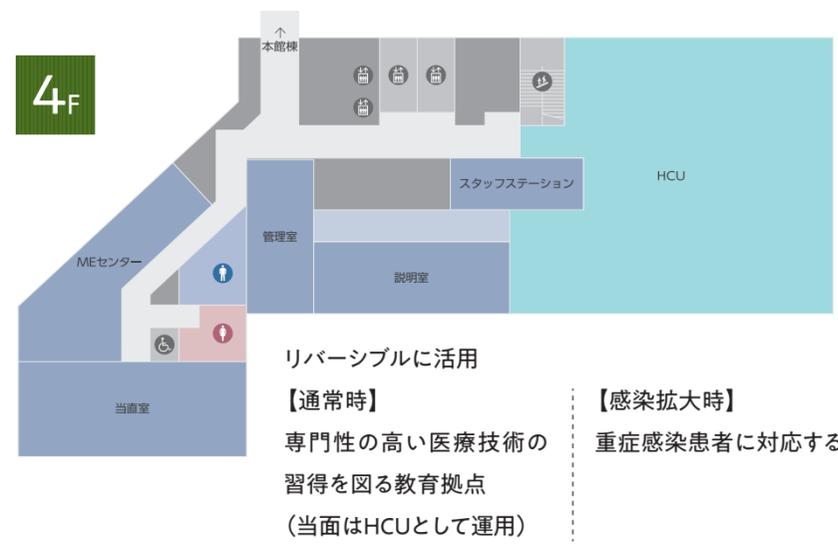
陰圧設備を備えた「救急・感染症外来」や「救急病棟」により、一次救急や小児救急への対応を充実



拡充整備した「内視鏡センター」により、がん診療の拠点病院としての検査・治療体制を強化



リバーシブルに活用
【通常時】
5G診察室、5G会議室
【発災時】
災害対策本部、
DMAT活動拠点本部



リバーシブルに活用
【通常時】
専門性の高い医療技術の習得を図る教育拠点
(当面はHCUとして運用)
【感染拡大時】
重症感染患者に対応するHCU

5F 電気室、機械室、備蓄倉庫